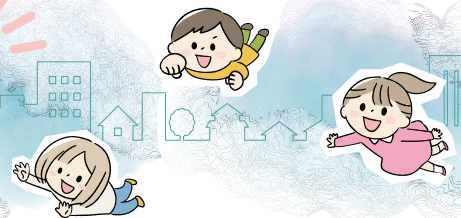




まちの話題



11月23日[Sat]~24日[Sun]

多久まつり & 同時開催イベントで大盛り上がり！



▲高取さん（左）と影山さん（右）のスペシャルライブで会場の熱気は最高潮になりました

今年で52回目を迎えた「多久まつり」が「木育キャラバンin多久」と「スマイルフェスタ」と同時開催されました。

多久まつりの会場となった北多久公民館周辺では、ステージイベントのほか多くの出店が並び、メインイベントの高取ヒデアキさんと影山ヒロノブさんスペシャルライブでは多くの人で盛り上がりました。北多久社会体育館で開かれた木育キャラバンin多久には、約200もの木製玩具がずらりと並び、親子連れが積み木などを楽しみました。児童センターあじさいでのスマイルフェスタは、バルーンアートや実験教室に子どもたちは興味津々でした。

市内からの来場者は「スペシャルライブを楽しみに来ました。会場が新しくなり、さまざまなイベントが開催されていて、以前よりもさらに楽しかったです。来年もぜひ参加したいです」と、笑顔で話されました。



▲木育キャラバンではたくさんの親子が積み木を楽しみました



▲スマイルフェスタでは「バルーンアート」が大好評！

11月25日[Mon]

官民連携で“アートのみち 多久”を推進



▲近隣住民のみなさんが見守る中、藤原上席執行役員（左）、横尾市長（中）、一般社団法人たく21の真崎俊夫代表理事（右）が連携協定を結びました

塗料のトップメーカーである日本ペイント株式会社（本社：東京都）、多久市ウォールアートプロジェクトを展開する一般社団法人たく21、多久市の3者が「アートを活用したまちづくりにおける地方創生連携協定」を締結しました。

締結式は、鮮やかなアートが施されたJR中多久駅前で実施。日本ペイント株式会社の藤原三也上席執行役員は「幅広い方面から協力できる重要な協定です。塗料の提供や教育振興のための支援を通じて、共に歩いていけることを楽しみにしています」と期待を込めて話されました。

横尾俊彦市長は「3者の知見を生かして創意工夫し、協力し合ってより良い発展をめざします」と述べました。

